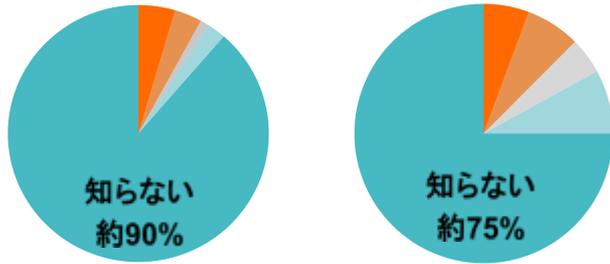


医療系大学・大学院生対象
「Gaviワクチンアライアンス・ゼロドース児」意識調査
一般社団法人Reaching Zero-Dose Children

【調査対象者】

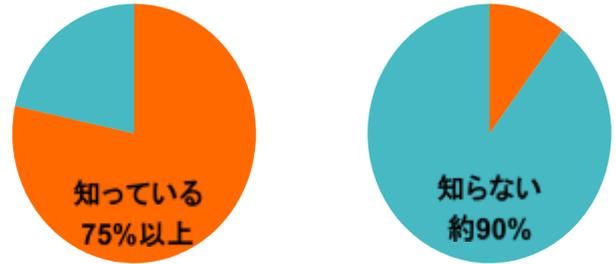
- ・目的: 日本の医療系学生のGaviワクチンアライアンスやゼロドース児に関する認知度を調査する
- ・調査期間: 2025年6月5日～2025年6月17日
- ・調査方法: Google Formを用いたオンライン調査
- ・対象: 医療系大学・大学院生
- ・回答者数: 88名(うち男性28名、女性60名)
- ・感染症や予防接種などの国際保健課題への関心
約50%が「関心がある」
- ・世界のすべての子どもがワクチンを受けられるようにすることは重要だと思いますか?
約75%が「とても重要だと思う」

・Gaviワクチンアライアンスとゼロドース児の認知度
Gaviワクチンアライアンス ゼロドース児



■よく知っている ■まあ知っている ■どちらともいえない ■あまり知らない ■知らない

・日本政府の拠出に関する認知度
ユニセフ Gaviワクチンアライアンス

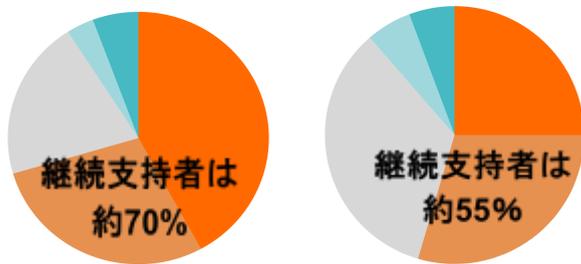


■知っている ■知らない

ユニセフ拠出は比較的認知されているが、Gaviワクチンアライアンスに関する認知度は低い。

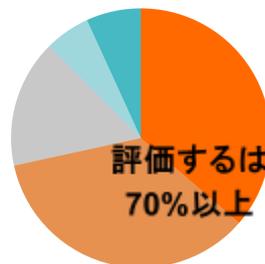
・政府支援金の継続に対する考え

ユニセフ Gaviワクチンアライアンス

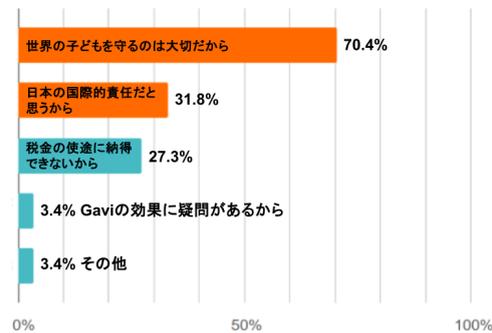


■継続すべき ■まあ継続すべき ■どちらともいえない ■あまり継続すべきではない ■継続すべきではない

・Gaviワクチンアライアンスやユニセフのような組織への政府支援への評価



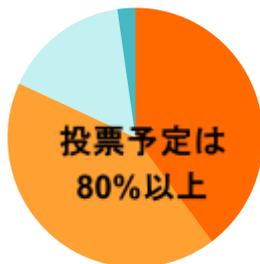
■とても評価する ■まあ評価する ■どちらともいえない ■あまり評価しない ■評価しない
※理由については、複数回答形式。



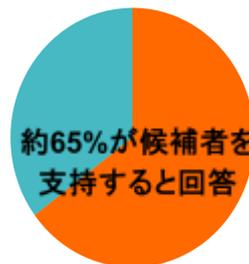
ユニセフやGaviワクチンアライアンスへの支援について、70%以上が意義を感じ、政府支援を支持している。

・投票への意欲

・国際保健や低中所得国の子どもたちの予防接種を支援する候補者に対して



■必ず行く
■予定がなければ行く
■行きたいけど、行けない
■行くつもりはない



■投票する
■投票しない

80%以上の回答者が投票意欲を示し、65%が国際保健や低中所得国の支援に力をいれる候補者を支持すると回答。

【おわりに】

本調査では、医療系大学・大学院生を対象にGaviワクチンアライアンスやゼロドース児に関する意識調査を行った。その結果、ユニセフ拠出はよく知られている一方、Gaviワクチンアライアンスやゼロドース児への認知度は低かった。一方で、70%以上が日本の国際保健支援に意義を感じ、65%が国際保健重視の候補者を支持する可能性があることも明らかとなった。今後の展望として、医療系学生を対象にGaviワクチンアライアンスやゼロドース児に関する認知度を高めるための啓発活動を拡充するとともに、政府は一層積極的に国際保健政策を推進していくことが望まれる。